

Beginner's version 組み立て説明 1

用意するもの

- はさみ ● カッターナイフ ● 定規 ● ピンセット
- のり(合成ゴム系接着剤や、木工用接着剤)
- 折リスジを付けるための道具(鉄筆や、インクの切れたボールペン)
- 丸みを付けるための円柱棒(編み棒や鉛筆)
- 紙の切り口着色用塗料(アクリル絵の具や、サインペンなど)
- つまようじ ● 工作用マットなど

作り方

1. パーツを切り取り線に沿って切り離します。組み立て説明3のパーツリストを参考に切る線や折り目などを確認してください。
 ※パーツのカット面(紙の断面)は組み立て前に同色の絵の具やサインペンで、あらかじめ着色しておくとう仕上がりが美しくなります。

2. ----- 山折り、----- 谷折りの線に沿って折り目をつけます。
 鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のがったものでスジをつけておくときれいに折れます。印刷面にキズを付けたくないときは紙の裏からスジを付けます。
 ※折るところはしっかり折るのがポイントです。
3. アール(丸み)をつける場所は、円柱状のものを芯にして指で十分にしごく、きれいなアールがつかます。図の ≡ ≡ ≡ がアールをつけるところです。
4. 接着する前に、組み立て図や完成写真をよく見て、どんな形になるのか仮組みをしてみます。同時にアールの付き具合も確認しましょう。
5. 接着剤は直接容器からつけずに、いらぬ紙などに少量を出して、つまようじを使ってうすくぬるときれいに仕上がります。
 完成写真や組み立て図をよく見て、必ず、■の番号順に接着してください。
 ※基本的にパーツ番号の1から順に2、3、4・・・と組み立てていくのが約束です。
 図中の ■ のところは紙の裏側を表しています。
 パーツNo.後ろの L/Rは運転席から見て L は 左側、R は 右側を表しています。
 ※カッターナイフを使用する際は指など切らないよう充分ご注意ください。

※ペーパークラフトをより美しく仕上げるためのコツや作り方はホームページ内のペーパークラフト入門を参考にしてください。

1 折るところはしっかり折るのがポイントです。十分なアールを付けてから必ず、■の番号順に組み立てます。

山折りするぐらい強めにアールを付けます。

左右の位置を決めてから中心を合わせます。

右側(4R)も同様に接着します。

1 先に中心線を合わせます。

2

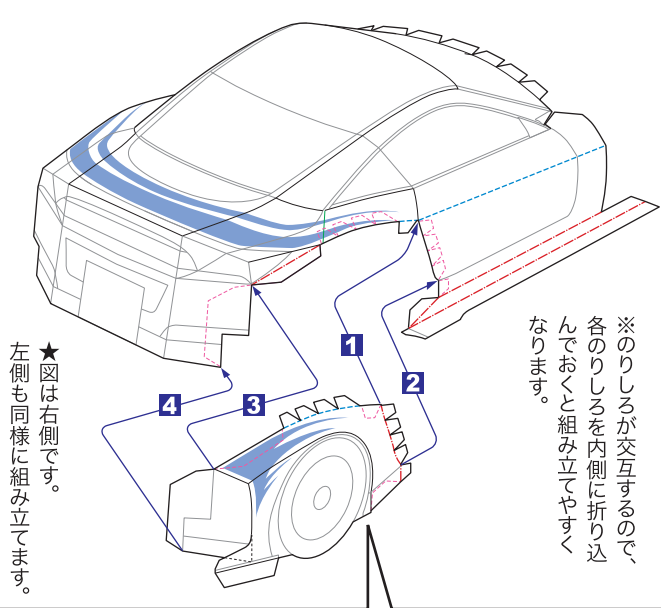
左右の位置を決めてから中心を合わせます。

十分なアールを付けてから必ず、■の番号順に組み立てます。

両端を正確に合わせて接着します。右側も同様です。

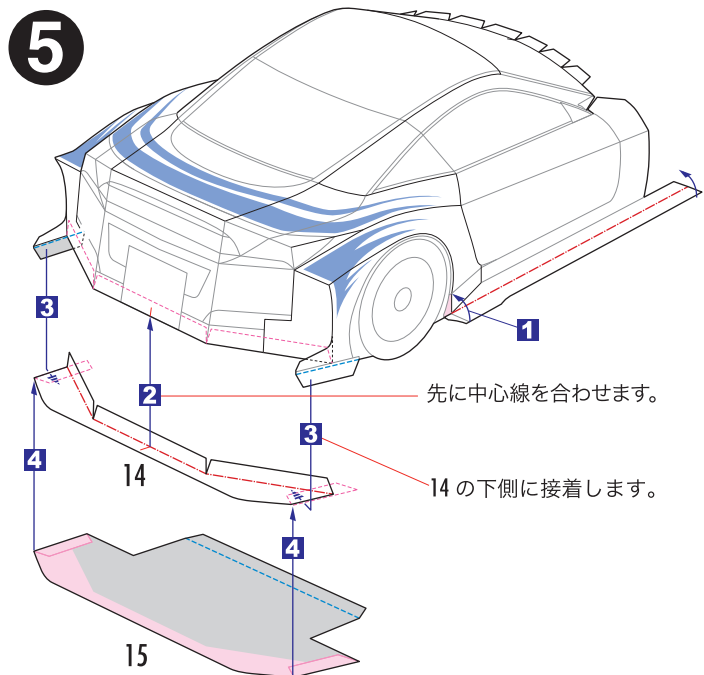
3 1を貼り合わせたら、片側ずついねいに組み立てていきます。

※のりしろが交互するので、各のりしろを内側に折り込んでおくと組み立てやすくなります。

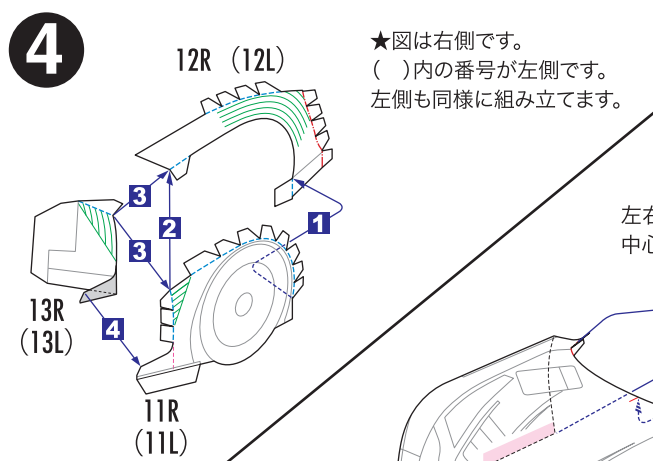


★図は右側です。
左側も同様に組み立てます。

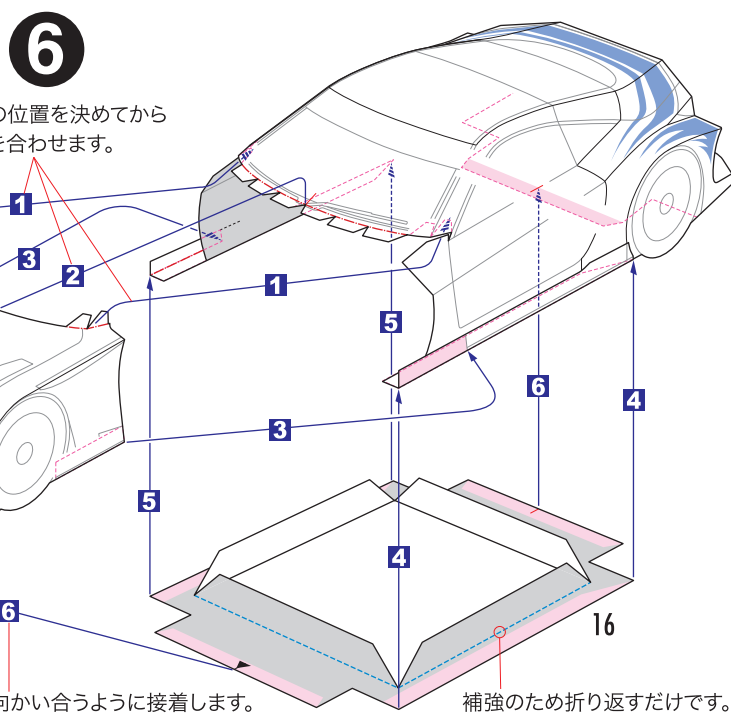
※のりしろが交互するので、
各のりしろを内側に折り込
んでおくとも組み立てやすく
なります。



先に中心線を合わせます。
14の下側に接着します。

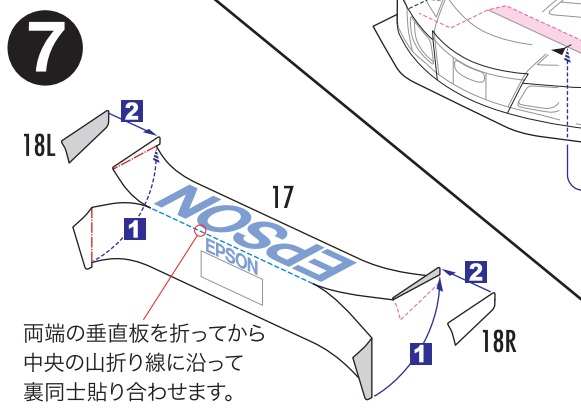


★図は右側です。
()内の番号が左側です。
左側も同様に組み立てます。



左右の位置を決めてから
中心を合わせます。

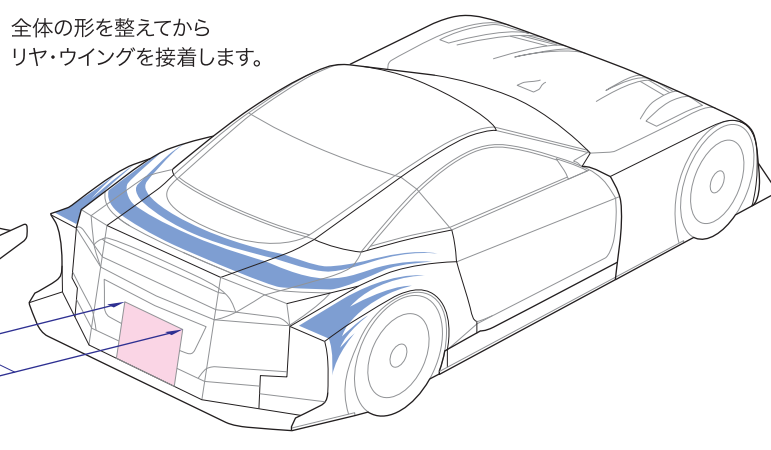
▲が向かい合うように接着します。
補強のため折り返すだけです。



両端の垂直板を折ってから
中央の山折り線に沿って
裏同士貼り合わせます。

4 互いの端を合わせて
貼り合わせます。

3 山折り線に沿って
裏同士貼り合わせます。

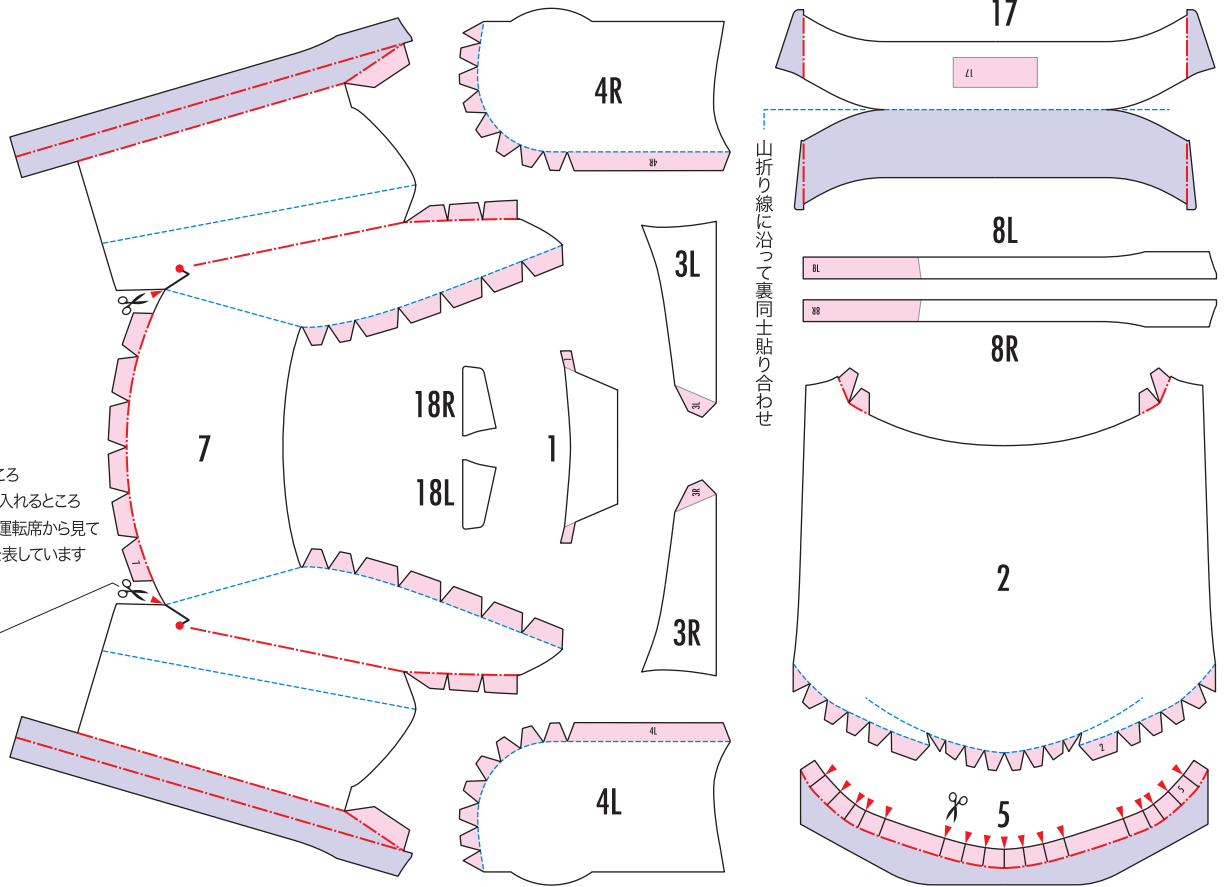


全体の形を整えてから
リヤ・ウイングを接着します。

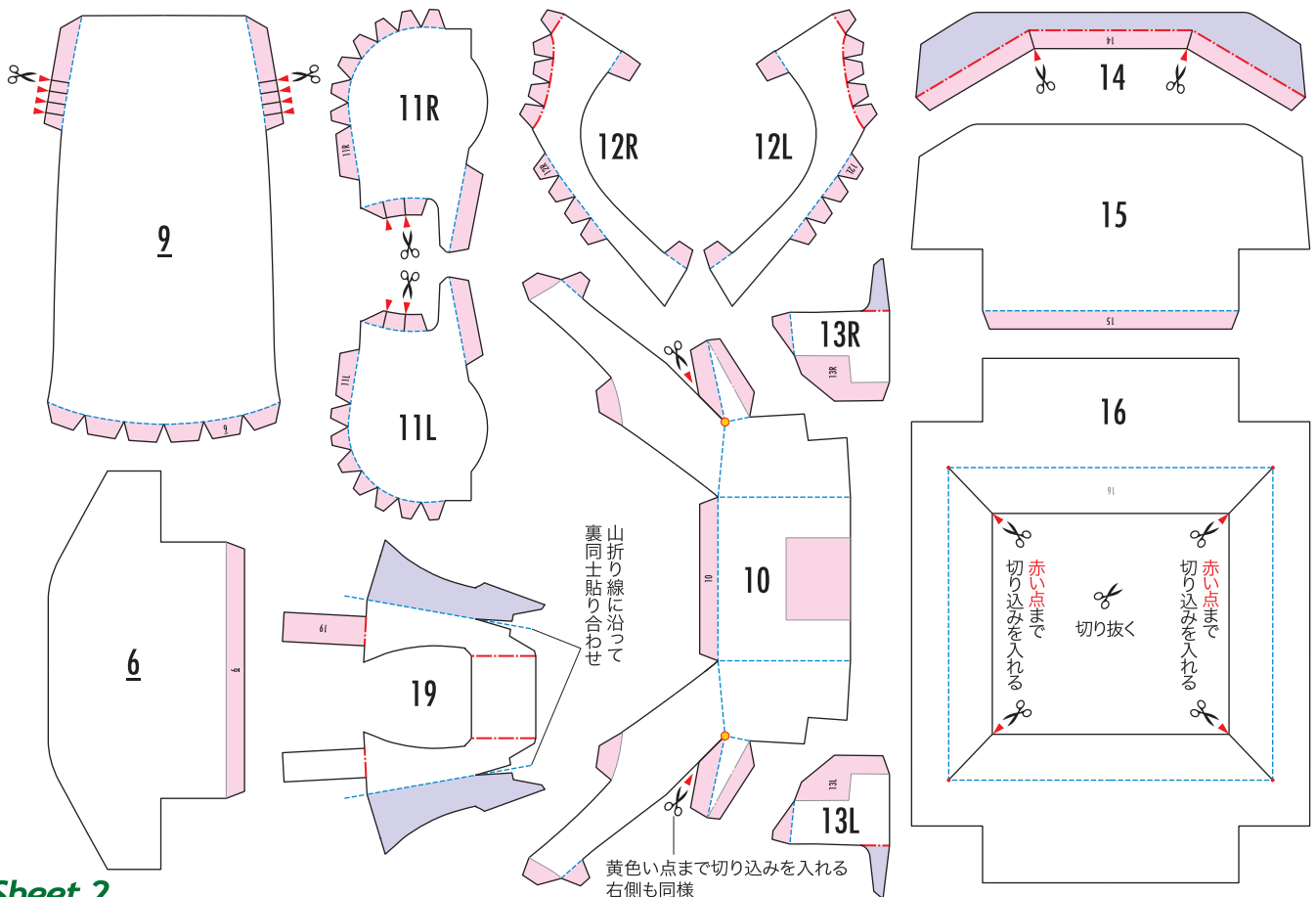
パーツリスト

- 切る線
 - - - 山折り
 - · - 谷折り
 - のりしろ
 - 裏にのり
 - > 8 切り抜くところ
 - < 8 切り込みを入れるところ
- 数字の後ろの L/R は運転席から見て
 L は左側, R は右側を表しています

赤い点まで
 切り込みを入れる
 右側も同様



Sheet 1



Sheet 2